

今日のトピック

トルコの債券・為替市場は足元堅調

ポイント1 トルコリラは足元堅調推移 債券市場も堅調

- 世界的に投資家のリスク資産への選好意欲が高まり、一部の新興国通貨が上昇するなか、トルコリラも対米ドルで足元堅調に推移しています。6月2日の引け値は1米ドル = 3.5リラ近辺と、16年12月以来の水準に上昇しました。
- トルコの債券市場にも投資資金が流入しています。2日の10年国債利回りは10.05%と、16年11月以来の水準に大きく低下しました。

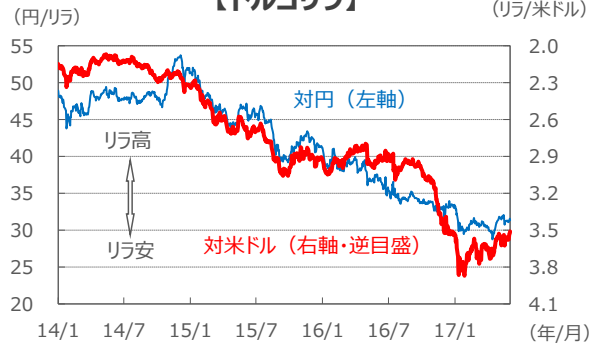
ポイント2 政治安定期待が背景 国内景気の持ち直しも追い風

- トルコの債券・為替市場が堅調なのは、4月16日に行われた国民投票で、エルドアン大統領の権限強化につながる憲法改正案が承認され、政治的な先行き不透明感が後退したことが背景です。
- 国内景気が持ち直し基調にあることも追い風となっています。実質GDP成長率は、クーデター未遂事件の影響で16年7-9月期に前年同期比▲1.3%となりましたが、10-12月期には同+3.5%と回復しました。

今後の展開 政治要因に注意が必要

- 地政学リスクが一旦落ち着いているなか、グローバルに高利回りを追求する資金が当面トルコの金融市場へ流入する可能性があります。しかし、エルドアン大統領は反政権勢力への弾圧を続けており、強権政治に批判的な欧州との関係は改善が見られません。今後も政治情勢により、トルコの債券・為替市場が不安定化するリスクには注意が必要です。

【トルコリラ】

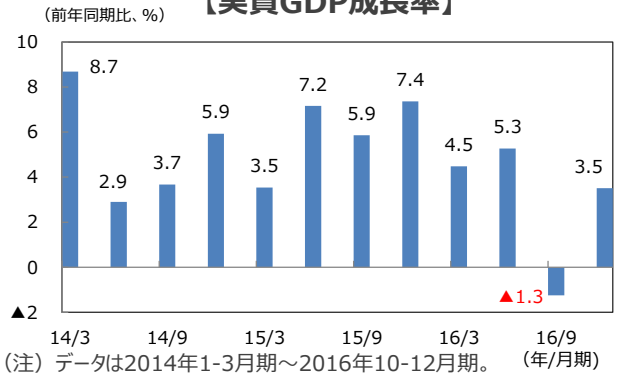


【10年国債利回り】



(注) データは2014年1月1日～2017年6月2日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【実質GDP成長率】



(注) データは2014年1-3月期～2016年10-12月期。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年4月27日 トルコの金融政策 (2017年4月)
2017年3月17日 トルコの金融政策 (2017年3月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。